

2022

佐賀市立

城南中学校

「よかった～城南中で」 と思える、
思われる学校



〒840-0016

佐賀市南佐賀一丁目20番1号

TEL 0952-24-4338

FAX 0952-24-4339

HP address : <http://cms.saga-ed.jp/hp/jonan-j/>

E-mail : cjonan@city.saga.lg.jp



ホームページQRコード



学校教育目標

城南中学生としての誇りをもち、たくましく生きる生徒の育成

～「城南魂をもち主体的に学び、人の気持ちのわかる人」の育成を目指して～

生徒像～城南魂をもち～

- ・自ら学び考え実行する
- ・元気を与える挨拶ができる
- ・思いやり心や感謝の心をもった
- ・身体を鍛え健康で、成長への意欲に満ちる
- ・仲間とともに一歩でも前進する
- ・地域を愛し、地域に愛される

生徒

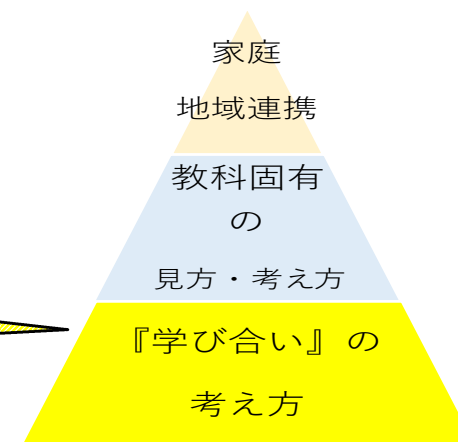
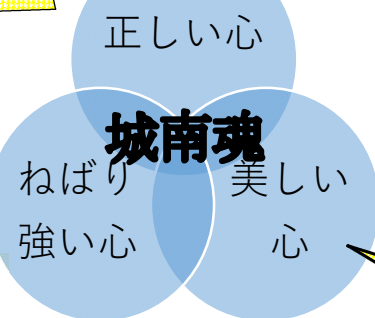
教師像～城南魂をもち～

- ・教育のプロとして高い志をもつ
- ・自ら学び、A・L授業を実践する
- ・生徒指導の三機能・開発的生徒指導の実践者
- ・学校目標に向かい「そ・し・き人対応」をする
- ・常に教育公務員として信用ある行為を心がける

先生

※『学び合い』は、子ども同士で教え合い、学び合い、自発的に学習していく授業です。そこで 一番大切にするのは、「一人も見捨てない」で「全員で課題を解決する」ことです。

※城南魂とは、日頃の生活を通じて、正しい判断と行動実践をすることで心を高く保ち、見せかけの美しさより一生懸命、誠心誠意取り組む事こそ美しい事として行動し、簡単にあきらめないで粘り強く取り組む忍耐とたくましさを自らに育むことを、常に自分に求め続ける人を育てたい。



具現化のための重点目標と具体策

主体的な学習者を育む学習指導方法の改善

- ・授業の積み重ねで学習集団としての人間関係力を高めていく授業設計と実践
- ・宿題の目的化と学習定着結果から生徒に寄り添う指導体系へ

不登校を減らすための生徒指導の三機能を基盤にした開発的生徒指導

- ・共感的理解、自己存在感、自己決定をキーワードとする関わり
 - ・個々の発達や個性をとらえた開発的生徒指導
 - ・良い所に好感を示し、叱る時は、叱る三原則と叱る三点セット（指摘、改善、経過指導）で臨む。
- 【叱る三原則】
- ①他人や過去の自分と比較せず現在の自分を起点に未来へ向かう。
 - ②行動を叱り人格を否定せず。
 - ③追い込んでしまわず逃げ道は残す。

豊かな心の育成(人権教育・道徳授業の充実、様々な体験活動の実践、読書活動の推進等)

- ・特別の教科道徳授業の実践、人権教育充実のための職員研修（一人一研修の還元）の充実
- ・学習指導要領におけるグループワーク、及びクラスワークでの生徒同士のかかわりを重視
- ・個と個をつなぐ『学び合い』の考え方を軸とした視点での授業づくり
- ・学校、学年、学級での発達段階に即した体験活動を仕組む
- ・生徒たちがかわり合い、過ごしやすい安心感のある学年・学級になれば、不登校やいじめの減少につながると思われる。そのため「人権が尊重される環境・人間関係・学習環境づくり」に取り組むことが重要である。

特別支援教育に向けた取り組み(生徒、教師の「困り感」解消に向けて)

- ・教職員のインクルーシブ教育に関する研修の実施
- ・小中連携の充実
- ・個別の支援計画、指導計画の丁寧な作成・共有・活用実践
- ・活用実践・障害のある生徒個々の障害に配慮した通常の教育課程に基づく指導

学校教育力向上を目的とした地域との連携～コミュニティ・スクールの充実

- ・体験活動への生徒の参加を増やす
- ・地域活動における地域の方の声を生徒に聞かせ、ふれあう場の設定
- ・地域に愛され地域に信頼される生徒を育成し、生徒自らの地域愛を育む、市民性を育む

主な年間行事



将来の学校教育のあり方を見通し、実践工夫する職員集団

- ・道徳教育の授業実践と評価、各教科の適正な履修、評価の充実
 - ・教職員の資質・能力の向上（教育は人なり、強いる学びから、興味をもって学びに没頭する学習へ）
- ①この紙面を使って全職員が学校を地域の人に説明できる
 - ②分掌事務を計画的に期限内に遂行できる
 - ③勤務時間の適正化のために、一日のゴール時間と内容を計画し、仕事をする。
 - ④C Sの一員としての教育活動を意識
 - ⑤継続可能な地域連携体制をめざす

SDGs(Sustainable Development Goals)(持続可能な開発目標)の取り組み

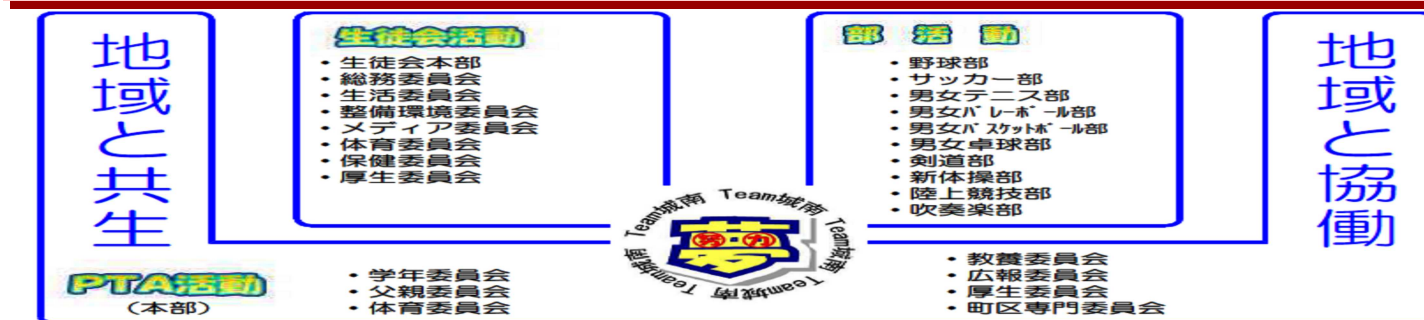
- ・2030年までの達成をめざす 17の目標について、本校で取り組むことを検討し、欲張らずいくつかに絞って取り組んでいく。
- ⑤ジェンダー平等を実現しよう（人権・同和教育）
- ⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに（生徒会活動）
- ⑧働きがいも経済成長も（働き方改革）
- ⑨産業と技術革新の基盤をつくろう（災害時の中学生として、大人として）
- ⑩人や国の不平等をなくそう（人権・同和教育）
- ⑪住みやすいまちづくり（コミュニティスクール）
- ⑫つくる責任つかう責任（食育、生徒会活動）
- ⑬気候変動に具体的な対策を（危機管理）
- ⑭平和と公正をすべての人に（人権・同和教育、平和教育）
- ⑰パートナーシップで目標を達成しよう（生徒会活動、生徒指導）

実施

改善

学校教育目標の具現化を図るため、学校評価により教育計画・組織・運営に評価と改善を加え、学校経営に積極的に生かす

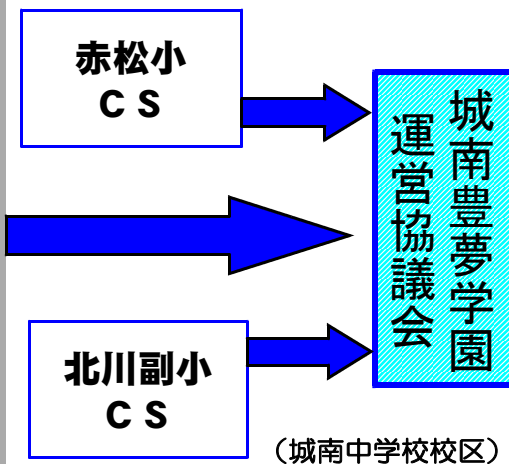
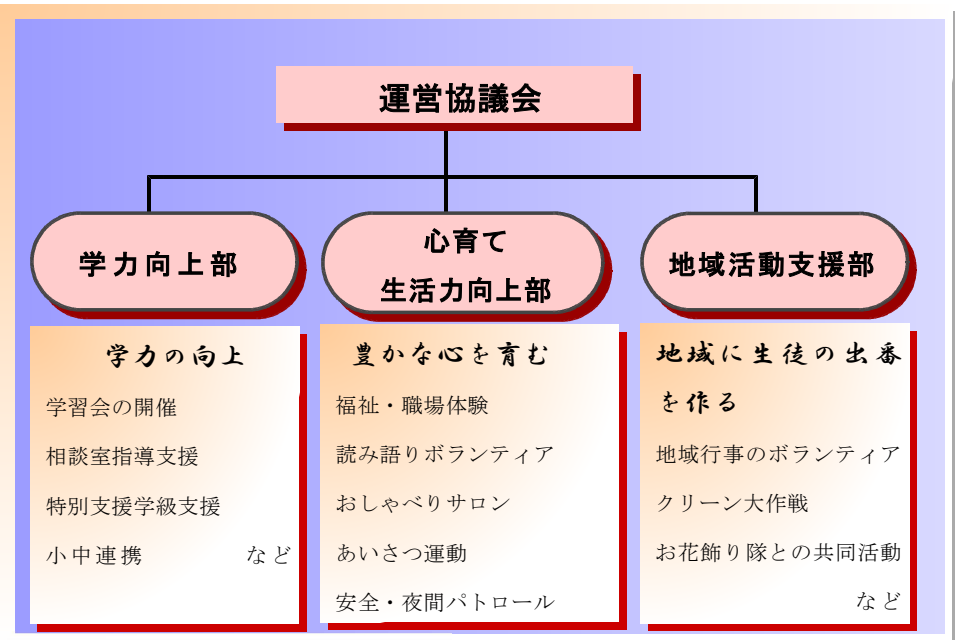
- ・校内評価委員会の実施（評価項目の検討、評価の分析と改善策の検討）
- ・学校関係者評価委員会の実施・評価結果の公表



本校の特色

城南校区コミュニティ・スクール(平成21年度より実践)

保護者（PTA）や地域等からなる運営協議会（CS:コミュニティ・スクール）を設置し、地域のニーズを捉え、地域に信頼される学校づくりをめざします。
地域と連携して、様々な活動や学校支援活動を実践します。



特色ある活動

城南中ドリームスクール



中学校の授業体験



部活動の説明



部活動見学の様子

赤松小・北川副小6年生の中学校へのスムーズな移行をめざし、部活動体験や模擬授業をおこないます。8月は模擬授業を11月には学校説明会と部活動見学を予定しています。

地域連携



花壇の花苗植え



校区の運動会で



コンサートの受付

全校生徒からボランティアを募り、数多くの地域行事に参加しています。生徒一人ひとりがまちづくりに参画し、地域の人々とさまざまな交流を深めています。

小中連携



校門前であいさつ



一緒に大きな声で



校区内の清掃活動

クリーン大作戦は、小学生と中学生が共に地域の清掃活動に取り組みます。出前あいさつ運動は、朝、中学生が小学校に出向き、共にあいさつ運動に取り組みます。